

大西伸明展 Nobuaki Onishi

投影と影取 Projection/ Extraction



Untitled edge 590×70×50mm 2019

< 展覧会概要 >

展覧会名 投影と影取 Projection/ Extraction

会期 2019年3月30日(土)- 4月27日(土)

11:00 - 17:00

日・月・祝日は休廊 入場無料

トークイベント

出原 均(兵庫県立美術館学芸員)×大西伸明

「平成・美術・これから」4月27日(土)15:00-16:00 無料

平成という30年間を振り返り、時代と美術の関わりとこれからの美術を語ります。

トーク終了後、ファイナルレセプションを開催いたします。

会場 Galerie Ashiya Schule ギャラリーあしやシュール

兵庫県芦屋市親王塚町 3-11

Tel 0797-20-6629

E-mail [info@ashiyaschule.com](mailto:info@ashiyaschule.com)

URL <http://www.ashiyaschule.com>

G A L E R I E  
ASHIYA  
SCHULE  
ギャラリーあしやシューレ

ギャラリーあしやシューレでは、2019年3月30日(土)より、大西伸明展「投影と影取 Projection/ Extraction」を開催いたします。

大西伸明は1972年岡山県生まれ、98年京都市立芸術大学大学院美術研究科版画修了。2013～14年に、ベルリン芸術大学ゲストスチューデントとしてイケムラレイコ教室に在籍しました。

大西伸明は、版画技法を応用した独自の手法によって、ものの本質と見え方を考察し、現実とそのイメージの関係を作品化しています。複製とリアルを前提に、その二項の〈あわい〉にある不確かさを可視化する作業は、実在を忠実に再現する Infinity Gray から、フェイクとリアルの並置する Lovers Lovers へ、そして型取りされた裏面を鏡面にした Vacuum シリーズへと移行していきます。本物と見紛う表面とそれを裏切る複数生産可能性の問いかけから、実在しない表裏に挟まれた極薄の膜まで、版を応用した独自の技法によって、表現の多様性を深めてきました。

今回、大阪のギャラリーノマルにおいて、同タイトル「投影/影取 Projection/Extraction」展が、ほぼ同時開催となります。ギャラリーノマルでは「スループリンティング」技法によって像をスプレーする「投影 Projection」作品を発表いたします。

ギャラリーあしやシューレで3年ぶりの個展となる本展では、ゼロの時点から生み出される「ヒビ」に焦点をあて、実態のない影を採取した「影取 Extraction」作品を展示いたします。

初の試みとして、天然樹脂の漆を塗布し、「虚」の存在を可視化したオブジェは、実在の闇の深淵に生々しく近づきます。

会期の最終日4月27日は、平成という30年間を振り返り、時代と美術の関わりとこれからの美術を、出原均（兵庫県立美術館学芸員）とともに語るトークイベントを開催いたします。

ぜひともご高覧くださいませよう、どうぞよろしく願いいたします。

投影／影取

大西伸明

モルタル仕上げの床や壁などを見ていると目に入ってくるヒビが気になっている。ジグザグであったり、いづれか分かれ道があったりしている。それらに少し隙間があると尚更気になってしまう。その隙間はネガ(虚)の空間を露出しているのだが、ヒビを起こしている床はそもそもネガポジという構造を持っている。それは例えば器の内側や部屋の内部空間等とは決定的に違っている。

ネガポジということを考えてみると、僕が慣れ親しんだ銅版画(凹版)はほぼネガポジの関係になっている。通常は絵の部分が凹んでいるけれど、仮に銅の板はピカピカの平たいものを用意して、紙をツルツルにしインクをのせて刷り取ると、そこには左右対称のデカルコマニーが現れる。そう考えるとインクは紙と板に挟み込まれたサンドイッチの具材のようなものであり、物体としての虚でもある。銅版画がさらにネガポジの関係に近づくにはインクの存在は実は異物でもある。

心臓の形は左右非対称である。また身体の中の位置も中心から少し外れた場所に存在し、体中の血液を受け止め去なす器のような構造を持っている。しかし何故か心臓が絵画の中で視覚化される際に、いつのまにやら左右対称の良く知られた記号の形になったようだ。

我々の身体の中にはたくさんの二つの関係が存在するが、目や耳などを比べてみると左右非対称である。小さいころ顔の半分だけ鏡に写したりして遊んだ記憶からもかなり左右で違う。もちろん右手と左手の関係は完全な左右対称ではなくシワなど微妙に異なっている。そっと手と手を合わせてその隙間に出来た空間を眺めてみる。様々な違いもあるけれど、その祈る隙間からヒビ割れ、心臓、血管、大地の裂け目など、いま僕の頭の中ではそれらが地続きになっている。

## 大西伸明

- 1972 岡山県生まれ  
 1998 京都市立芸術大学大学院美術研究科版画修了  
 2013-14 第23回五島記念文化賞美術新人賞受賞により、ドイツ・ベルリンに滞在

## 個展

- 1996 シティギャラリー I・M、大阪  
 2001 Prinz the Gallery、京都  
 2002 大雅堂、京都  
 2004 「Infinity Gray “memories”」 Studio J、大阪  
 2005 「Collection」ノマル・プロジェクトスペース cube & loft、大阪  
 2006 「Desktop, Dress, Gray」国際芸術センター青森、青森  
 「Remnants of nature」Studio J、大阪  
 2007 「Desktop, Dress, Gray」ノマル・プロジェクトスペース cube&loft、大阪  
 「Character」アイン・ソフ・ディスプレイ、愛知  
 「3°C」Studio J、大阪  
 2008 「無名の輪郭」INAX ギャラリー2、東京  
 「LOVERS LOVERS」入善町下山芸術の森 発電所美術館、富山  
 2009 「垂直集め」中京大学 C スクエア、愛知  
 2010 「新しい過去」MA2 Gallery、東京  
 「Vacuum」ギャラリーノマル、大阪  
 2011 「大西伸明」ジョージア・シャーマンプロジェクト、カナダ、トロント  
 「UNTITELED」兵庫県立美術館、兵庫  
 2012 「Throuth」ギャラリーノマル、大阪  
 2013 「Red is Gray」CAPSULE、東京  
 2015 「Vacuum」ギャラリーノマル、大阪  
 「ソノモノ」MA2 Gallery、東京  
 2016 「写しの香りと数の味」ギャラリーあしやシューレ、兵庫  
 2017 Unkown Sculpture series no.7 #3 「かけがえのないかけかえ」gallery21yo-ji、東京  
 「Through the looking-grass, and what she finds there」MA2 Gallery、東京  
 2018 「果てのないつながりのなかただ在りて私は永久の一部となりし」MA2 Gallery、東京

## 主なグループ展

- 1992 「新世代の版画家たち'92」ギャラリーココ、京都  
 1994 「NEW FACE」GALLERY View、大阪  
 1995 「ミニアチュール展'95」ギャラリーココ、京都  
 「We are here」シティーギャラリー、兵庫  
 「Print-8」シティーギャラリーI・M、大阪

- 1997 「Experimental Scene」 Art Space Gallery、愛知  
 全国大学版画展 町田市立国際版画美術館、東京
- 1999 「開かれた世代 part2」 アートライフみつはし、京都  
 「Kyoto Print Today」 H・T コーペランドギャラリー、アメリカ
- 2002 「版の思想・版の手法'02」 愛知県立芸術センター、愛知  
 「ドローイング BOX」 ギャラリーココ、京都
- 2003 京都府美術工芸新鋭選抜展 京都文化博物館、京都
- 2004 「版の思想・版の手法'04」 愛知芸術文化センター、愛知  
 京都府美術工芸新鋭選抜展 京都文化博物館、京都  
 「アートコートフロンティア 2004」 アートコートギャラリー、大阪  
 「TAKE ART COLLECTION」 スパイラルガーデン、東京  
 「境界面（大西伸明・吉岡俊直）」 大阪成蹊大学芸術学部 spaceB、大阪  
 ISPA 京都会議「Power of Printing」 京都文化博物館、京都  
 「トカップチレポート/フィッシングダイアリー（伊藤存・大西伸明・中瀬由央）」 REMO、大阪  
 「ヤーレス・ガーベン展」 ノマル・プロジェクトスペース cube & loft、大阪
- 2005 「Re OLYMPIC、バチ抜け/フィッシングダイアリー」 赤レンガ倉庫、大阪  
 淡路アートフェスティバル 2005、淡路島、兵庫  
 「『版画の力』倉敷展-西の現代版画の新世代たち-」 加計美術館、岡山
- 2006 淡路アートフェスティバル 2006、淡路島、兵庫  
 アサヒ エコアートシリーズ 2006「事物 人物 人工物、自然物 in KISO-GAWA」 アサヒビール名古屋工場、愛知  
 「Material:White Book」 ノマル・プロジェクトスペース cube & loft、大阪
- 2007 「Contemporary Art : Studio J コレクション展」 Studio J、大阪
- 2008 「The Act of Looking - 実測図の展覧会 -」 ヴォイスギャラリー-pfs/w、京都  
 「崇高から不気味なものへ」 海岸通ギャラリー・CASO、大阪  
 「共鳴する美術 2008」 倉敷市立美術館、岡山  
 「白展」 MA2 Gallery、東京
- 2009 「アートの今・岡山 2009」 岡山天神山文化プラザ/高梁市歴史美術館/奈義町現代美術館
- 2010 「Book Art 2010 Japan・Korea」 Gallery Jinsun、ソウル、韓国/クンストバウ東京、東京/ギャラリー山口、大阪  
 「内在の風景」 Aest Space、メルボルン、オーストラリア  
 「木津川アート」 招待出品 八木邸、京都
- 2011 「銀河の庭」 Sutton Gallery Project Space、メルボルン、オーストラリア  
 「内在の風景」 小山市立車屋美術館、栃木  
 「岡崎/大西/オブジェ[2]」 MA2 ギャラリー、東京
- 2012 「内在の風景」 JAPAN FOUNDATION GALLERY、シドニー、オーストラリア  
 「現代美術はこんなにおもしろい」 岡山県立美術館、岡山

- 2013 「岡崎/大西/オブジェ There is Nobody」MA2 ギャラリー、東京  
「CROSSOVER」AKI GALLERY、台北  
「Moonsalto」Studio + Plus、ベルリン、ドイツ
- 2014 高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.04「リアルをめぐって」  
高松市美術館、高松  
「プリントって何？-境界を超えて-」市原湖畔美術館、千葉  
「untitled」MA2 ギャラリー、東京
- 2015 「素材と知覚-「もの派」の根源を求めて」遊狐草舎、京都  
「Art Meets 大西伸明 | 相川勝」アーツ前橋、群馬  
「岡崎和郎/大西伸明 Born Twice」京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA
- 2016 「どこにもない新しい場所 - Nowhere but Somewhere New -」西武渋谷美術画廊、東京  
「Aki Eimizu & Nobuaki Onishi」AG Nicola von Senger Galerie、スイス  
「gallery the youth opening group exhibition」青春画廊西陣、京都

#### 受賞

- 1997 全国大学版画展 買い上げ保存賞  
観客賞 町田市立国際版画美術館
- 2004 京都府美術工芸新鋭選抜展・最優秀賞 京都文化博物館
- 2007 あおもり国際版画トリエンナーレ 2007 あすなろ賞 国際芸術センター青森、青森
- 2008 第1回岡山県新進美術家育成「I氏賞」・大賞、岡山
- 2012 第23回五島記念文化賞美術部門新人賞
- 2013 第31回京都府美術賞奨励賞  
PAT in Kyoto 京都版画トリエンナーレ 優秀賞

#### パブリックコレクション

嵯峨美術大学・町田市立国際版画美術館・三戸町立版画研究所・京都市立芸術大学  
京都文化博物館・兵庫県立美術館・発電所美術館・和歌山県立近代美術館・zabludowicz collection  
岡山県立美術館・徳島県立近代美術館・The kalamazoo Art Institute ・Ewing Gallery of Art and  
Architecture

展覧会ならびに作品に関する問い合わせ、掲載用写真のご要望、ご質問がございましたら、下記までお  
問合せください。

**Galerie Ashiya Schule** ギャラリーあしやシューレ 担当：高尾奈美江

〒659-0016 兵庫県芦屋市親王塚町 3-11

Tel : 0797-20-6629

Mail : info@ashiyaschule.com

Website : http://www.ashiyaschule.com